

科目	歴史総合	単位数	2	履修学年・クラス（講座）	1年普通科
使用教科書	明解 歴史総合 （帝国書院）				
補助教材等	「明解歴史総合図説シンフォニア最新版」「明解歴史総合ノート」（帝国書院）				

1 学習の到達目標

近現代における社会的事象の歴史的見地・思考からグローバル化する国際社会に適応できる能力を身に着けることを目指す。

- (1) 本の歴史と世界の歴史の流れを学習し、日本と世界の関連性を把握することによって日本を広く相互的視野から捉え、現代的諸課題の形成にかかわる歴史を理解する。
- (2) 現代の歴史の変化にかかわる意義や特色を現在とのつながりを意識させ、多面的・多角的に考察し、課題の解決への道筋を考えさせる。
- (3) よりよい社会の実現のため、主体的に問題解決への考えを養うとともに、日本の歴史の理解と他国の歴史や文化を理解・尊重する態度を養う。

2 学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

○歴史は流れが大事。教科書をよく読むことが理解への早道。なぜ、そのことがおこったのか、原因は必ず過去にあるので、原因を確認することで物事をつながりを理解することができる。

○授業中板書などを書き写すことで満足せず、説明をよく聞くこと。

○ノート・プリントなどきちんと書くこと。

○提出を求められるものを期限までにきちんと提出すること。

3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	授業の内容を理解できているか。 歴史の中で重要な事柄を把握できているか	各単元における学習課題を授業内容に即し、判断・表現できるか。	授業内での問いに積極的姿勢で取り組めるか。 ノートやワークブックがきちんと書かれているか。
主な評価方法	・定期テスト	・定期テストの思考・判断・表現に関する問題 ・授業内での取り組み	・授業態度 ・提出物

4 学習及び評価計画

※評価の観点：（a）知識・技能、（b）思考・判断・表現、（c）主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時数	学習内容	評価規準
---	----	----	------	------

4 5	各地域の諸文明 1部 歴史の扉 2部 近代化と私たち	10	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代以前の諸地域の歴史の流れを地域ごとに把握する ・歴史の学び方・資料の読み取り方・歴史叙述の特徴を学ぶ 1章江戸時代の日本と結びつく世界江戸時代における日本と世界のつながりと清王朝を中心とするアジア社会とイスラームとヨーロッパの拡大について 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸地域の主要な国家を把握できているか (a) ・資料の読み取り方・叙述の特徴を理解できるか (a) (b) ・江戸時代の日本の世界とのつながりやアジアとヨーロッパの関係を理解できるか (a) ・アジアとヨーロッパは何を通じて結びついていたか考察できるか (b)
6 7	2部 近代化と私たち	10	<ul style="list-style-type: none"> 1章 欧米諸国における近代化 ・ヨーロッパにおける市民革命による民主主義国家の誕生と産業革命によるイギリスの繁栄と国際分業体制の確立について 2章近代化の進展と国民国家の形成1800年代のヨーロッパにおけるナショナリズムの台頭による、ドイツ・イタリアの統一・クリミア戦争を発端とするロシアを中心とした東方問題・アメリカの拡大と帝国主義の成立について 3章アジア諸国の動揺と日本の開国オスマン帝国の衰退に伴うイスラーム世界の改革と帝国主義によるヨーロッパ勢力のアジアの植民地化と開国に向けての江戸幕府の動揺について 	<ul style="list-style-type: none"> ・民主主義革命と国民意識の芽生えや産業革命とその影響を理解できるか (a) ・イギリスとアメリカ・フランスの革命を比べ考察する (b) ・各国の近代化の推進とナショナリズムから起こる帝国主義について理解できるか (a) ・なぜナショナリズムが台頭したか考察できるか (b) ・オスマン衰退に伴うイスラーム世界の改革とヨーロッパ勢力のアジアの植民地化に伴う日本の動揺について理解できるか (a) ・植民地化に対する神と日本の対応を考察する (b)
8 9	2部 近代化と私たち 3部 国際秩序の変化や大衆化と私達		<ul style="list-style-type: none"> 5章 近代化が進む日本と東アジア ・開国後の日本の近代化への道のりと日清・日露戦争による対外進出や不平等条約の改正を目指す日本の動きについて。 1章 第一次世界大戦と日本の対応 ・ヨーロッパにおける協商対同盟の 	<ul style="list-style-type: none"> ・開国後の日本について理解できるか (a) ・不平等条約解消に向けての動きと国家体制の矛盾について考察できるか (b) ・第一次世界大戦に向けてのヨーロッパの対立とそれに対する日本の対応を理解できるか。 (a)

		<p>対立とパン＝スラヴ主義対パン＝ゲルマン主義のバルカン半島をめぐる対立と第一次世界大戦、大戦と日本のかかわりと社会主義政権の誕生</p> <p>2章 国際協調と大衆社会の広がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大戦後のヴェルサイユ体制の成立と国際連盟設置による国際協調の確立と日本のかかわり。朝鮮・中国での抗日の高まりやアジアでの民族運動の展開。ヨーロッパやアメリカにおける大衆の政治参加への動きと日本への影響について 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の意義を今までの流れから考察できるか (b) ・大戦後の国際協調と日本のかかわりやアジアでの民族運動の高揚について理解できるか。(a) ・大衆の政治参加への動きの要因を考察できるか (b)
10 11	3部 国際秩序の変化や大衆化と私達	<p>3章 日本が行方と第二次世界大戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌に対する世界経済の対応とファシズムの台頭による対外戦争への危機。日本の経済復興と軍部の台頭による大陸進出による満州事変から第二次世界大戦に至る過程 <p>4章 出発する世界と日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大戦後の国際連合を中心とする国際秩序の確立。アメリカとソヴィエトを中心とする冷戦の始まりとその構造。日本撤退後の東・東南アジアの独立への道と占領下の日本の回復への道について 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌から始まる第2次世界大戦に至る過程を理解できるか。(a) ・ファシズムの台頭や日本の軍部の台頭についてその要因を考察できるか (b) ・大戦後の国際秩序と冷戦の構図による世界の動きを理解できるか (a) ・日本の回復について、世界の動向と関連させて考察できるか (b)
12 1 2	4部 グローバル化と私たち	<p>1章 戦で揺れる世界と日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の緊張緩和とヨーロッパの独自外交の中での日本の対応と高度経済成長によるアジアのリーダーとしての日本の動向。脱植民地化の中での第三勢力結成の動きとパレスチナ問題を発端とする中東の情勢について 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦構造の変化と中東の情勢の世界における影響を理解できるか (a) ・日本の高度経済成長を世界の動きと関連させて考察できるか (b)

		<p>2章 多極化する世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大国アメリカの動揺に伴う国際秩序の変化と日本の経済大国への歩みと国際社会との経済摩擦の発生。アジア・南米の経済発展とイスラーム世界の復興による世界の多極化について学ぶ <p>3章 グローバル化の中の世界と日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冷戦の終結による世界の構図の変化と地域連合の進展やグローバル化の進展。湾岸戦争を発端とするアメリカと中東情勢の推移。冷戦終結による日本の体制の変化とグローバル化の進展に伴う日本経済の変化について学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカの動揺と日本の経済大国化に伴う経済摩擦について理解できるか (a) ・ 世界の中の多極化の進行の要因を考察できるか (b) ・ 冷戦終結後のグローバル化の進行と新しい世界の対立について理解できるか (a) ・ 冷戦後の世界の構造の変化とそれに対する日本社会の変化について関連させて考察できるか (b)
8			
9			
2			